

## 令和5年度 学校経営計画書

学校番号	23	学校名	静岡県立吉原高等学校	校長名	藤村 寿一
------	----	-----	------------	-----	-------

## 1 スクール・ミッション

富士市内で開校が最も古く、普通科と国際科が設置されている伝統校として、校訓「正しく(Right)、強く(Strong)、明るく(Bright)」を具現化するための方策(RSB Strategy)とグローバルな視野で地域の課題解決に取り組む探究学習を通して、吉高 Spirit\*1 を持って未来を切り拓く5つの力\*2 を身につけた人材の育成を目指す。

\*1 吉高 Spirit 「自分を信じる心」「相手を認める心」「社会の役に立とうとする心」

\*2 5つの力 ①自己肯定力 ②分析・思考力 ③想像・創造力 ④共生力 ⑤表現・実行力

## 2 目指す学校像

## (1) スクール・ポリシー

## 【国際科】

## グラデュエーション・ポリシー

○国を超え誰かのために一生懸命になれる人：寛容な心でつながる「コミュニケーション力」を磨きます。

○世界とつながりより良い社会を創る人：「論理的な思考力」を育みます。

○未知なる課題にワクワクしながら挑む人：好奇心をもってフットワークよく「行動する力」を育みます。

## カリキュラム・ポリシー

○フェアトレードの実践や探究活動の経験、台湾姉妹校や海外高校生・大学生との出会いと交流により、多様な価値観を受け入れ、豊かな国際感覚を磨きます。

○留学生の受け入れや少人数授業、対話型授業により、「聞く力」「伝える力」を洗練させます。

○学校設定教科「異文化体験」、語学研修(夏季・冬季)、海外語学研修(2年春季)など、体系的なプログラムにより、「誰とでも協力して世界をよくしていこうとする力」「粘り強く挑む力」を養います。

## アドミッション・ポリシー

## 〈普通科・国際科共通〉

○聞く力、認める力、伝える力、協力しあう力を伸ばしたい生徒。

○自分の可能性を広げたい生徒。

○進路実現に向けて挑戦したい生徒。

## 〈国際科〉

○多様な言語や異文化に触れる経験や学びを通して、寛容さ、しなやかさ、積極性を身に付けたい生徒。

## 【普通科】

## グラデュエーション・ポリシー

○自分にスポットライトを当てられる人：「追求する力」を養い自分らしさを極めます。

○認め合い、励まし合える人：「仲間と共に解決する力」を育てます。

○好奇心をもってたゆまぬ努力のできる人：「未来を切り拓く発想力」を育みます。

## カリキュラム・ポリシー

○対話型授業、少人数授業、習熟度別授業、課外授業等により、「基礎学力」、「学び続ける力」を鍛えます。

○希望に基づいた特進クラス、理数コース・人文コースの設置、学校設定科目「ボランティア実践」等々の選択肢により、一人一人の可能性を引き出します。

○面接・小論文・学科等の個別支援により、「第一志望をあきらめない心」、「実現する力」を育てます。

## アドミッション・ポリシー

## 〈普通科・国際科共通〉

様式第1号

- 聞く力、認める力、伝える力、協力しあう力を伸ばしたい生徒。
- 自分の可能性を広げたい生徒。
- 進路実現に向けて挑戦したい生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

「未来を切り拓き、愛され続ける学校」の実現を目指し、

- ア 基礎・基本的知識及び技能を習得させ、思考力、判断力、表現力を育成する。
- イ 認め、褒め、励ますことで自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成する。
- ウ 自主・自律の精神を育み、自己決定する力を育成する。
- エ キャリア教育を推進し、他者と関わりを通して地域に貢献する力を育成する。
- オ 保健安全教育や教育相談活動を推進し、自己や他人の健康の保持増進に努める力を育成する。
- カ 適切な事務の執行により信頼される事務室運営を行う。
- キ 「チーム吉高」として教職員が協働的な教育活動とワークライフバランスを意識した働き方により、本校生徒の成長に真に有効な学校運営を推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

スローガン「認めあい、励ましあう学校」

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<b>基礎・基本的知識及び技能を習得させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の充実</li> <li>・参観シートを活用し、公開授業や授業研究期間中1人2回以上の授業参観</li> <li>・授業改善リーダー等による研究授業の実施</li> <li>・公開授業（年2回）</li> <li>・ICT環境の整備、校内ICT研修の実施</li> <li>・デジタル教材の活用研究</li> <li>・スタディーサポート、模試の有効活用</li> <li>・「学習時間調査」（4、9月各4週間）の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他者の授業の良いところを自身の授業に取り入れた」と答える教職員80%以上</li> <li>・授業で、「理解確認をしている」と答える教員100%</li> <li>・「授業がわかる」と答える生徒（保護者）80%以上</li> <li>・公開授業 年間2回以上</li> <li>・「ICT機器を活用し授業を展開できる」と答える教職員100%</li> <li>・「学びの基礎診断」を学習指導に役立てている教員80%以上</li> </ul>	<p>教務 図書研修 教科 情報 生徒 学年</p>

様式第 1 号

<p>イ</p>	<p>認め、褒め、励ますことで自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員、生徒共に「挨拶」を大切にする気持ちの醸成</li> <li>・品位ある吉高生の育成(制服の正しい着こなし、さわやかな挨拶)</li> <li>・生徒の成長を認め、言葉にして励まし、ほめる努力の継続</li> <li>・生徒の状況把握と適切な指導の実施</li> <li>・善行表彰の実施</li> <li>・生徒が安心してアウトプットできる雰囲気づくり、発表する場の設定(学年、クラス、部活などにおいて各学期1回)</li> <li>・異文化体験発表会の実施(年間8回以上)</li> <li>・朝読書の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶ができています」と答える生徒 100%、保護者 90%以上</li> <li>・「自分は価値ある人間である」と答える生徒の割合 70%以上</li> <li>・「先生はよく褒め、認め、励ましてくれる」と答える生徒(保護者) 85%以上</li> <li>・「生徒をよく褒め、認め、励ますように心がけている」教員 100%</li> <li>・自分の思いや考えを言語化できる生徒 100%</li> <li>・読書で様々な人の生き方や考えに触れることで、「読書は自分を豊かにする」と答える生徒 70%以上</li> </ul>	<p>全体</p>
<p>ウ</p>	<p>自主・自律の精神を育み、自己決定する力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間調査の実施(年2回)</li> <li>・生徒が主体となって企画する高樓祭等の学校行事の実施</li> <li>・生徒会活動の活性化</li> <li>・積極的に校外活動を行おうとする姿勢の育成</li> <li>・外部検定試験等の積極的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合 80%以上</li> <li>・1週間の家庭学習時間の一日平均が、1, 2年生 2時間以上 3年生 2.5時間以上</li> <li>・自ら進んで授業に取り組む生徒の割合 80%以上</li> <li>・学校行事満足度 70%以上</li> <li>・ボランティア実践。参加者に事前指導を2回実施し意識を高め、単位習得率 100%となる</li> <li>・大学主催の講座等への参加 20人以上</li> <li>・英語検定等の外部検定で CEFR B-1 以上取得 20%以上</li> <li>・「失敗しても努力し続けることができる」と答える生徒(保護者)の割合 80%以上</li> </ul>	<p>教務 生徒 進路 図書研修 国際 学年 教科</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動・生徒会活動等を通じた自主・自律の精神の涵養</li> <li>・完全下校時間(19:30)の徹底</li> <li>・成人年齢 18 歳に伴う消費者講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動・生徒会活動は活発に行われている」と答える生徒（保護者）70%以上</li> <li>・「部活動ガイドラインを意識して行動している」と答える生徒・教職員 100%</li> </ul>	
エ	<p>キャリア教育を推進し、他者と関わりを通して地域に貢献する力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的授業・学習評価の研究</li> <li>・カリキュラム・マネジメントを意識した授業展開</li> <li>・一人ひとりの進路希望を大切にし、常にきめ細やかな進路支援の実施（出張授業等年間 10 回以上）</li> <li>・学年に応じた進路シラバスの活用</li> <li>・国際理解教育の推進</li> <li>・台湾、アメリカ、オーストラリア等の高校との交流及び生徒、教職員の受け入れ</li> <li>・国際科における語学研修、異文化体験（2 年海外異文化体験、1 年イングリッシュセミナー等）の実施</li> <li>・学校、PTA、地域一体となった指導体制の構築</li> <li>・一部活一地域貢献の実施</li> <li>・社会人講話の実施</li> <li>・図書館機能の充実</li> <li>・各学期 1 回発行する新刊案内や図書館だより、図書館の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「研究や研究内容を取り入れた授業を実践できた」と答える教員 80%以上</li> <li>・「総合的な探究の時間」が進路選択に役立った生徒 90%以上</li> <li>・授業内容等に興味があつて本校を選択した生徒の割合 80%</li> <li>・「進路指導に関して学校と家庭が連携できている」と答える生徒（保護者）75%以上</li> <li>・外国の学校との交流が学習意欲の向上に繋がった 80%以上</li> <li>・「研修が表現力向上に役立った」と答える生徒 80%以上</li> <li>・地域人材の招聘年間 10 回以上</li> <li>・地域等へのボランティアへの参加 年間延べ 550 人以上</li> <li>・「進路を開拓していくのに図書館は役立った」と答える生徒 70%以上</li> </ul>	<p>進路 図書研修 生徒 国際 学年</p>

様式第 1 号

<p>オ</p>	<p>保健安全教育や教育相談活動を推進し、自己や他人の健康の保持増進に努める力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動、保健衛生教育の充実</li> <li>・地域との連携による防災意識の高揚</li> <li>・いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応のための組織対応</li> <li>・ジェンダーに敏感な視点に基づく人権教育の推進</li> <li>・教育相談体制の充実</li> <li>・保健体育、部活動等での適切な指導</li> <li>・メディアポリシーの周知と研修の実施</li> <li>・生徒の各委員会活動の充実</li> <li>・PTA と協働した交通安全意識の定着化</li> <li>・自転車事故を防ぐため、自転車の定期的な整備の徹底</li> <li>・交通安全講話の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃参加 100%</li> <li>・地域防災訓練参加率 100% (生徒・教職員)</li> <li>・防災教育推進連絡会議年 1 回</li> <li>・いじめの加害 0 件 被害 0 件</li> <li>・いじめアンケート実施年 3 回</li> <li>・学校や学年行事を通じて、互いを認め励まし合える活動の場を提供する (年 3 回以上)</li> <li>・SNS に関する問題行動 0 人</li> <li>・長期欠席生徒の減少</li> <li>・教育相談だより発行学期 2 回</li> <li>・新体力テスト優秀校入賞</li> <li>・交通安全意識高揚指導 毎月 1 回</li> <li>・外部団体と連携した交通安全事業の実施 各学期 1 回以上</li> <li>・自転車整備店で年 1 回は整備する</li> <li>・交通事故死者 年間 0 人、 傷者 年間 10 人以下</li> <li>・自転車指導カード交付枚数 年間 100 枚以下</li> </ul>	<p>総務 生徒 保健 教務 学年 教科 事務</p>
<p>カ</p>	<p>適切な事務の執行により信頼される事務室運営を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な学校経営予算の編成と執行</li> <li>・施設設備、用具等教育環境の点検整備と安全保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査・検査等による指示・指摘 件数 0 件</li> <li>・施設、設備、用具等の不備に起因する事故発生件数 0 件</li> </ul>	<p>事務</p>

様式第 1 号

<p>キ</p>	<p>「チーム吉高」として教職員が協働的な教育活動とワークライフバランスを意識した働き方により、本校生徒の成長に真に有効な学校運営を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム吉高」として主体的な取組のもと進める業務改善</li> <li>・組織的な教育活動を推進するためのシラバス及び評価規準の作成と活用</li> <li>・勤務時間の適正化</li> <li>・ワークライフバランスを意識した働き方と行動変容（休暇、振替取得の推進）</li> <li>・健全な部活動の推進 外部機関との連携強化</li> <li>・地域への情報発信</li> </ul>	<p>【職員集団の組織性、協働性（チーム吉高）の向上と教職員の自己有用感の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全分掌が年度末までに業務改善を報告できる。</li> <li>・「互いに認め、支え合い協力して教育活動にあたれた」と答える教職員 80%以上</li> <li>・「授業改善に役立った」と答える教員 90%以上</li> <li>・「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100%</li> <li>・全教職員の年次休暇取得が前年度比増となる。</li> <li>・「年休、夏季休暇、変形労働の振替等を活用できた」と答える教職員 70%</li> <li>・時間外勤務時間前年度比 5%減</li> <li>・ホームページ、ツイッター更新 350 回以上</li> </ul>	<p>管理職 運営委員会 生徒 事務</p>
----------	---	---	---	------------------------------------

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること